

2019年4月12日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

再生可能エネルギー100%利用を目指す「RE100」に加盟

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）は4月、事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達する事を目標とする国際的なイニシアティブ「RE100」に加盟しましたのでお知らせします。



当社では、2014年に太陽光発電事業に参入して以降、再生可能エネルギー事業を本格展開し、北海道から九州まで、当社が保有・運営する再生可能エネルギー事業施設数は現在計43ヶ所（2019年3月末日時点、開発中案件含む）で定格容量819MW（共同事業含む総関与事業値）です。※

当社は将来的に再生可能エネルギーを自社利用することで「RE100」を実現し、事業を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

【目標】

2050年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにする

【「RE100」統括責任者 サム・キンス氏のコメント】

「東急不動産がRE100に加盟し、事業活動で消費する電力100%再生可能エネルギーから調達することを目指す主要企業の仲間入りをしたことを大変嬉しく思います。東急不動産が消費電力を100%再生可能エネルギーとし、クリーンエネルギー事業への投資を進めることによって、化石燃料からの脱却の事業性が日本において明確に伝わり、さらにクリーンエネルギーへのシフトの加速につながることでしょう」



【「RE100」とは】

「RE100」は事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達する事を目標とし、世界の主要企業が参加する国際的なイニシアティブを指します。2014年に国際NGO団体The Climate Groupが主導して発足しました。CDP(主要企業の環境戦略を調査し、投資家等に開示及び評価するNGO)と提携して運営しており、国内外の大手企業などが加盟しています。

※ 3月には再生エネルギー事業者のリニューアブル・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：眞邊 勝仁）と再生可能エネルギー事業領域において資本業務提携を強化しました。

○東急不動産の再生可能エネルギー事業[リエネ]ホームページ <https://tokyu-reene.com/>

